



平成20年度独立行政法人土木研究所理事長表彰伝達式および 平成20年度独立行政法人土木研究所寒地土木研究所優良業務表彰授与式を行いました

7月16日、寒地土木研究所講堂において、恒松所長以下幹部職員出席のもと、平成20年度独立行政法人土木研究所理事長表彰伝達式および平成20年度独立行政法人土木研究所寒地土木研究所優良業務表彰授与式を行いました。

理事長表彰伝達式では、業績表彰として2名、永年勤続表彰として30年勤続5名、20年勤続8名の職員一人ひとりに対して所長から表彰状が伝達されました。

また、優良業務表彰授与式では株式会社シー・イー・サービスから正岡久明氏、日本工営株式会社札幌支店からは小野寺勝氏が来所され、所長より優良業務について表彰を受けました。

(文責：岡崎 紗也香)



30年表彰



20年表彰

《30年表彰》	
所 属	氏 名
管理部	柴田 正洋
技術開発調整監付寒地技術 推進室	高柴 保明
技術開発調整監付寒地技術 推進室道東支所	煤孫 英雄
寒地基礎技術研究グループ (耐寒材料)	田口 史雄
寒地基礎技術研究グループ (防災地質)	日下部 裕基

《20年表彰》	
所 属	氏 名
研究調整監付企画室	尾初瀬 徳生
管理部管理課	佐々木 徹
管理部管理課	高張 穂
技術開発調整監付寒地技術 推進室道央支所	畠 秀樹
技術開発調整監付寒地技術 推進室道央支所	宮本 修司
技術開発調整監付寒地技術 推進室道北支所	山下 浩二
寒地水圏研究グループ(水環境保全)	森田 茂雄
寒地道路研究グループ(寒地交通)	葛西 聰

《業績表彰》

所 属	氏 名	表彰理由概要
寒地基礎技術研究グループ(寒地地盤)	富澤 幸一	複合地盤杭の力学挙動評価と耐震設計手法に関する研究に奨励し、博士(工学)を取得した。
寒地水圏研究グループ(水環境保全)	村上 泰啓	豪雨により発生した斜面崩壊土砂量の流域規模での推定と動態に関する研究に奨励し、博士(工学)を取得した。



《平成20年度独立行政法人土木研究所寒地土木研究所優良業務表彰》

業務名	会社名	評価内容
冬期交通渋滞特性に関する実測調査補助業務	(株)シー・イー・サービス	<p>本業務では、札幌市内国道を対象に交通流等の実測調査を行い、冬期渋滞損失額の算定と除排雪作業の費用便益分析を行うための基礎資料を得た。</p> <p>業務遂行にあたっては、膨大な量のビデオ画像から交通特性(交通量、旅行速度、車間距離、道路占有率等)、路面状態及び堆雪状況の整理、また、冬期道路管理作業資料の整理が必要であった。</p> <p>当該業者(担当者)は上記の膨大なデータを的確に整理し、良質なデータを得るとともに、ビデオ画像、プローブカー、冬期道路管理資料等のデータの活用方法についても積極的な提案を行い、精度が良く信頼性の高い成果を得た。</p>
水理水質計算プログラム作成補助業務	日本工営(株)札幌支店	<p>本業務は、草地等で発生する表面流の挙動を水文・水理学的手法で追跡し、土地利用条件、二次元地形条件による流出・水質の相違を定量的に表現できることを目標に過年度に作成したプログラムの GUI(グラフィカルユーザインターフェース)化を図り、条件設定から、解析、解析結果の表示まで一連の作業をシステム上で簡易に実施できるシステムを構築したものである。このことにより研究実務の効率化が図れたのみならず、行政の技術者さらに関係者への可視的な説明が容易となるなど大きなスキルとなった。</p> <p>この補助業務において受注者は、受注者の有する計算処理の高速化を図る改善技術およびシステム的な推奨動作環境を提案することにより、極めて良好なプログラムとの取り扱い説明書を完成できた。</p>

